

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成22年12月2日(2010.12.2)

【公開番号】特開2008-173958(P2008-173958A)
 【公開日】平成20年7月31日(2008.7.31)
 【年通号数】公開・登録公報2008-030
 【出願番号】特願2007-272677(P2007-272677)
 【国際特許分類】

B 4 1 J 2/05 (2006.01)

B 4 1 J 2/165 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 3 B

B 4 1 J 3/04 1 0 2 N

【手続補正書】
 【提出日】平成22年10月19日(2010.10.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

インク吐出口からインクを吐出するためのエネルギーを発生させるエネルギー発生素子を備える記録素子基板と、

前記記録素子基板と電氣的に接続された電気配線部材と、

前記記録素子基板が搭載された搭載面であって該搭載面とは反対側へ前記電気配線部材を貫通させる開口が設けられた搭載面と、
 を有するインクジェット記録ヘッド。

【請求項 2】

前記搭載面よりインク吐出方向へ突出した、前記インク吐出口を覆うキャップ部材と当接する当接部位を有しており、該当接部位は前記搭載面の外周を囲んでいる、請求項 1 に記載のインクジェット記録ヘッド。

【請求項 3】

前記電気配線部材はフレキシブル配線テープである、請求項 1 または 2 に記載のインクジェット記録ヘッド。

【請求項 4】

前記電気配線部材と前記開口との間の隙間は、前記記録素子基板と前記電気配線部材との電氣的接続部を封止する封止材で封止されている、請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録ヘッド。

【請求項 5】

インク吐出口からインクを吐出するためのエネルギーを発生させるエネルギー発生素子を備える記録素子基板と、

前記記録素子基板と電氣的に接続された電気配線部材と、

前記記録素子基板が搭載された搭載面と、

前記搭載面よりインク吐出方向へ突出した、前記インク吐出口を覆うキャップ部材と当接する当接部位であって前記搭載面の外周を囲んでいる当接部位と、

前記当接部位で囲まれた領域の内から当該領域の外へ、前記電気配線部材を前記当接部位と交差させることなく案内する案内部であって前記領域内の前記搭載面に設けられてい

る案内部と、を有するインクジェット記録ヘッド。

【請求項 6】

前記案内部は、スリット状の開口である、請求項 5 に記載のインクジェット記録ヘッド。

【請求項 7】

前記電気配線部材と前記開口との間の隙間は、前記記録素子基板と前記電気配線部材との電氣的接続部を封止する封止材で封止されている、請求項 6 に記載のインクジェット記録ヘッド。